

第12回／「つくるⅠ（キャリア形成Ⅰ）」（1月21日）報告  
—「ビッグデータ時代のデータマイニング概論  
—分析活用事例とモデル構築体験」—

今期の最終回にあたる第12回目の1月21日は、テンソル・コンサルティング株式会社 (<http://www.tensor.co.jp>) 代表取締役・東京農工大学客員教授の藤本浩司氏(1985年数学科卒業)が、「ビッグデータ時代のデータマイニング概論—分析活用事例とモデル構築体験」というテーマで講義を行いました。

まずテンソル・コンサルティング株式会社のデータマイニングの仕事について解説されました。金融機関をはじめとしたさまざまな分野で「データを使ってビジネスを効率化していく」仕事です。マーケティング、リスク管理、最新技術の活用の3つの分野でソリューションを提供する、それもアプリケーションソフトではなく数理モデルを作ることが中心となります。

以下に講義の概要を紹介します。



質問に答える藤本浩司講師

- データマイニングのビジネス応用事例  
—具体的なビジネスの応用事例の紹介  
—Eコマースの検索エンジンの例
- データマイニングの概要  
—大量のデータから知識を取り出すアルゴリズム

—データマイニングの流れ

- スペースシャトルチャレンジャー号事故(1986年)はなぜ防げなかったか
- 人間によるデータマイニング演習

最後の演習では、収支計算も解説され、予測精度を上げると収益が増えることが強調されました。